

## 荒唐無稽な東海併記論の論拠

2019.6.16 (島根)

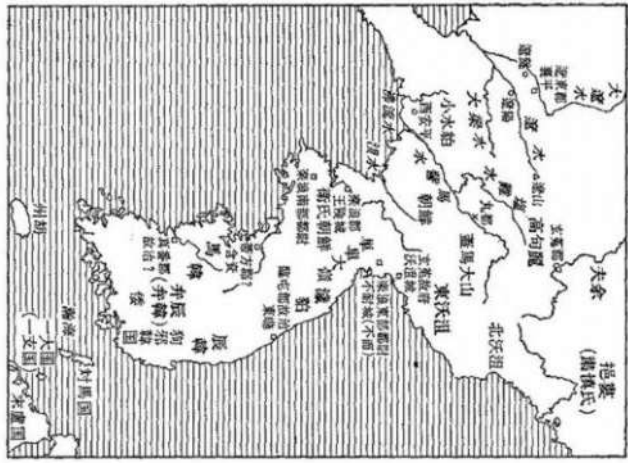
下條

## 1. 韓国外交通商部の論拠

- (1) 『三国史記』「高句麗本紀」→「東海之濱有地」
- (2) 「広開土王碑」(414年)→「東海賈」
- (3) 『東国輿地勝覽』所収「八道総図」→東海・西海・南海
- (4) 『我国総図』→東海・西海・南海

## 2. 韓国側による歴史のねつ造

- (1) 「東海之濱、有地」
  - ㉠ 高句麗の建国
  - ㉡ 建国時の疆域
  - ㉢ 高句麗史は韓国の歴史か
- (2) 「東海賈」
  - ㉠ 陵戸の存在(「東海賈國烟三看烟五」)
  - ㉡ 東海の商人の意味
- (3) 「八道総図」と『祀典』
  - ㉠ 東海・南海・西海は内陸部に表記、「中祀」、海(瀆)を祀る。『国朝五禮儀』
  - ㉡ 山川、海濤、大山
  - ㉢ 日本海とは無関係
- (4) 『我国総図』の東海
  - ㉠ 『東国輿地勝覽』、各道地図の「四至四到」
  - ㉡ 東抵大海→『大明一統志』の編纂方針踏襲
- (5) 韓国は1929年、日本の植民統治下にあり、国際水路局に参席できなかった説
  - ㉠ 「韓国は亜細亜東南に突出した半島国なり。その境界は東、蒼海に濱(沿って)日本海を隔て、西は黄海に臨んで中国の山東江蘇二省に対す」(朴殷植『韓国痛史』)
  - ㉡ 朝鮮は「亜洲の東にあり。西、清国渤海に接す。北、満州に連なり、東、日本を界とす」(『輿載撮要』)
  - ㉢ 明治八年(1876年)、大後秀勝『大日本海陸全国聯接朝鮮樺太』「日本海/JAPAN SEA」
  - ㉣ 『寰瀛水路誌』(1883年刊)と『朝鮮水路誌』(1894年刊)→日本海と表記
  - ㉤ 戦後、『東亜日報』→「東海か?日本海か?」



東夷伝地圖

